○ 本校の概要
本校は昭和22年に開校し、私鉄の4駅に囲まれた交通至便な住宅街にあり、現在は11学級、全校生徒375名の中学校である。敷地は風致地区内にあり、自然に溢れ、4月には校庭も一面桜の花で覆われる。平成31年度にオープンした勝海舟記念館とともに、隣接して区民の憩いの場である周囲を15分ほどで歩ける風光明媚な洗足池があり、運動会の長距離走ではここがコースとなっている。生徒たちはこの池にホタルを自生させる活動に取り組み、毎年その風情が地域の方から喜ばれている。また、落ち葉を集めて作ったミミズコンポスト、夏の陽射しをさえぎるゴーヤのグリーンカーテン、さらに近隣の大岡山駅の駅前花壇メンテナンス等も行っている。教育目標は〇気品のある生徒の育成 ○実力のある生徒の育成 ○健康の優れた生徒の育成の3つを揚げている。教育活動は、2011年にユネスコスクールに加盟し、地域を「屋根のない学校」として捉え、地域の人としてをモットーに地域の中で、地域の人々と共に、地域のために、環境を保全する環境教育や、災害に立ち向かう場所としての防災教育を中心に、国際理解・交流教育、地域連携教育、人権・人命尊重・平和教育を行い、生徒の自己有用感、自己肯定感を育んでいる。自分の育った地域に愛着を持ち、郷土愛を育み、将来の日本、世界の様々な課題を考え解決して、心豊かに生きていく基盤となる教育実践を行うことで、SDGsを到達目標としながら、20年・30年後の持続可能な社会の担い手を育てる持続発展教育(ESD)を推進している。

目標 	取組内容	取組指標	取組 目標に対する成果指標 コンケータ・生活学校証価アンケータ・		評価。	人数	学校関係者記入欄 コメント ははものプレゼンテーションカの言さは日も目進るものがあります。社会人になるまでに、いるいるか
	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国 の方々とのコミュニケーション能力の育成等を 図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	4:生徒学校評価アン 4: ケートの該当する項目(9 ~15,18~21)が90%以上	・各教科等で発表活動(プレゼンテーション)を積極的に取り入れ、コミュニケーション能力の向上を図っている。 他者の意見を聞く力、自らの考えを他者にわかりやすく伝える力が確実に身			・生徒のプレゼンテーション力の高さは目を見張るものがあります。社会人になるまでに、いろいろが試行錯誤をして成長してほしいです。 ・平和を考える会での発表は、内容の充実もさることながら、堂々としたプレゼン姿勢が素晴らしかた。パワーポイントを効果的に使うとともに、それぞれの平和への想いが伝わるような発表が強く印に残った。
ミュニケー		4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。	4 3:生徒学校評価アン 3:ケートの該当する項目(9	につき、自信をつけることができている。 - 情報の収集、処理、スライドの作成等には1人1台配備の学習用タブレットを積極的に活用し、発表活動におい			・学習用タブレットの積極的な活用により、生徒のプレゼンテーション能力の向上が、様々な発表の動の場において見られました。考えを深めるためのツールとしての更なる効果的な活用が期待できーす。 ・授業の中に、プレゼンテーションや議論することを取り入れ、自分達の考えを表現することを学んで
だもの力と自信を身に付けます。	学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、タブ	1:60%未満であった。 4:全正規教員が毎日活用した。 3:80%以上の正規教員が毎日活用した。 2:60%以上の正規教員が毎日活用した。	~15,18~21)が80%以上 ————————————————————————————————————	ては各教室に設置の大型電子黒板を 用いている。ICT機器の活用能力の向 上とともに、考えを深めるためのツー ルとして普段使いできるようになって	В	4	いることは高く評価できると思います。コロナ禍でICT機器の導入が進み、オンラインの体制が整っこともとてもよいと考えます。 ・平和の日やキャリア教育のプレゼンを見せていただき、生徒の皆さんのICT機器活用能力の高さ感じました。 ・学習用タブレットの活用を積極的に取り入れ、普段使いができるようになれば大いなる学習効果が
	他者の人権を尊重する人権教育の推進を目 指し、人権教育資料等を活用した授業を実施	1:60%未満であった。 4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。 2:60%以上で行った。	2:生徒学校評価アン ケートの該当する項目(9 ~15,18~21)が60%以上 1:生徒学校評価アン ケートの該当する項目(9 ~15,18~21)が60%未満	3			- 得られるだろう。 ・いずれの評価も高い。先日見させていただいた「六中平和を考える会」でも一人一人がタブレット活用し、発表していて感心させられました。 ・4でいいと思う。積極的にタブレット端末を使い、各教科で有効活用されていると思う。コロナ禍で
	体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画 を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校 一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践			向け、一定の成果をあげることを目指す。 ・生徒学校評価においては「家庭で宿題、予習・復習をしっかりしている」「定期考査に向けて、計画的に熱心に取り組んでいる」の2項目で評価が低かった。生徒自身が納得のいく取組ができるよう、ICTの活用も含めて支援体制を整えていく。			CT教育が向上し、学ぶ環境を整えて出来る限りの行事等も無事に開催されています。保護者の抗し、と教職員方のご尽力の賜物だと思います。校舎の老朽化については例年より学校評価と項目を割て考えたいと思っております。現状では、マイナスのイメージにとらわれず先輩方が学び育った校舎 愛着を感じ、大切に受け継ぐ視点で受けとめてはいかがでしょうか。安全性、快適性は必要なので
	する。	1:60%未満であった。 4:全教員で行った。			D	0	 教員の皆さんが取り組んでいましたが成果が少し出なかった。伸びる要素があるということでしょか。 積極的な取組に、安定した成果に期待する。
	「判断力」を育成するためのESDを推進する。 学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひ	2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。 4:対象となる全学級(全教員)で行った。 3:80%以上で行った。	4:生徒による授業アン 4: ケートのうち、生徒の自 こ 3 己評価の項目(1~7)で3	・SDGsカレンダーを活用したカリキュ ラム・マネジメントにより、基礎的、基			・土曜補習の英検対策講座、数学補習教室の参加者は、大変まじめに取り組んでおり、成果をあげている。います。 ・「定期考査前の学習は十分に時間をとって取り組んでいる」の項目で評価が低いことについて、ぜひ、分材
	とりの学習のつますさや学習方法について、 指導する。	2:60%以上で行った。 1:60%未満であった。 4:学期に2~3回知らせた。	3	本的な知識を身につける必要のある場面と主体的、対話的で深い学びに取り組む場面でメリハリのある学習が進められるようにした。 ・学習補助員を活用し、土曜日を中心	A		支援をお願いしたいです。 ・学習補助員による補習への出席について全教員が働きかけたことで英検対策において成果が出ているこが素晴らしい。定期考査前の学習について、「十分に」という指標は個人差があるため、回答にも差が生じた。 思われる。
見童・生徒一 しひとりの学	算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	3:字期毎に知らせた。 2:年度間に1回は知らせた。 1:お知らせできなかった。 4:対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。	2 ケートのうち、生徒の自 一 己評価の項目(1~7)で3 または4と答えた生徒が 80%以上	に補習の機会を設定した。英検対策の効果は高く、区が設定した3級取得割合の目標を達成することができた。 ・引き続き大田区学習効果測定の結果を踏まえた授業改善推進プランを策		5	・定期考査前の学習など、家庭学習に主体的に取り組む生徒の育成に期待しています。 ・青竹クラブの取組や英検・漢検の活用など学習面の強化が高く評価できます。ステップ学習チェックシート 学習カルテはありますが、生徒の意識がそこまで高いか、先生との面談やつまづきへの指導が十分かどう は、課題が残ると感じます。 ・授業参観や生徒の皆さんのアンケートから、まじめに一生懸命学習に取り組んでいることがわかります。「
ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習補助員等による算数・数学・英語の補習を実施する。	3:80%以上の教員が働きかけた。 2:60%以上の教員が働きかけた。 1:60%以下の教員が働きかけた。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2:生徒による授業アン 2: ケートのうち、生徒の自 己評価の項目(1~7)で3 または4と答えた生徒が	3 定し授業改善を図っていくとともに、数 学科においては個別最適化の学習を 推進するためにステップ学習チェック シートを有効活用していく。 生徒による授業アンケートでは「定期			期考査前の学習は"十分に"時間をとって取り組んでいる」という項目は、大人でも時間を計画的に使っている」とは難しいですし、生徒さんも忙しい毎日だと思うので、その中でやりくりをしていくことは難易度が高いと思ます。でも計画的に自分なりに学習を進めていくことは大切ですし、そのようにしてほしいと願っています。 ・SDGsカレンダーや学習補助員の活用を含めた、様々な面での授業改善プランが有効的に機能することを持したい。
	授業改善推進プランを、授業に生かす。	3:80%以上が回答した。 2:60%以上が回答した。 1:60%未満であった。	3 60%以上 1:生徒による授業アン 1: ケートのうち、生徒の自	考査前の学習は十分に時間をとって 取り組んでいる」の項目で評価が低 い。原因がテストの目標値の設定か、 相対的な自己評価なのかなど、さらに			・SDGsについては、生徒一人一人がしっかり学んでいる様子があり、児童館の取組の参考にさせてもらいす。意欲の高さをとても感じます。 ・「先生は、勉強についての質問や疑問に丁寧に対応してくれる。」の項目で93.7%の生徒評価から見て= 学校での授業は充実していると思われる。土曜日中心の補習も行い、効果も期待できており、高く評価しま 学習補助員と協力しての補充授業の継続をお願いします。
	基礎学力の定着を目指し、定期考査前に、専任教員と学習補助員が協力して、国語・社会・数学・理科・英語の五教科の補充授業実施する。		二 4	分析をすすめ支援する。	D	0	・学ぶ意欲を高めるのは難しく感じます。・学力向上への指導力を評価。
とりの正義感 や自己肯定 感、自己有用 感などを高め	浬(1) 分手 「い」 (4) 二(1) ルールの之(2) (1) さき	4:全教員が行った。 3:80%以上の教員が行った。 2:60%以上の教員が行った。 1:60%未満であった。	4:生徒学校評価アンケート 4: の該当する項目(1~8),生徒 の生活アンケートの該当す る項目(1・14~22)及び、保 護者対象アンケートの該当	・自らが生きている世界の情勢に目を 向ける取組として、月2回の「世界のト ピックス」、社会科におけるニュース カード、各クラスでの新聞記事紹介等 を行った。 奇しくもウクライナ侵攻の		14	 ・六中には様々なボランティア活動が、工夫されて用意されています。自分の興味がある分野に取組める、素晴らしい環境だと思います。 ・個人の尊重に基づいた、生命の大切さ、多様性への理解、平和への願いが、来校するたび掲示などで取組が日々行っていることが伝わってきた。また、地域活動への参加など積極的なボランテ活動が楽しく行われているのが印象的だった。
	道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、 都及び区の資料を活用した授業等を行う等道 徳指導充実のための取組を行う。	4:学期に2~3回(年間6回)以上行った。 3:学期に1回(年間3回)以上行った。 2:年度間に1回以上行った。	する項目(4~6)で3または4 と答えた生徒・保護者が 90%以上 4 3:生徒学校評価アンケート 3: の該当する項目(1~8),生徒	ニュース等を通じて生命の大切さや平和への願いに思いを馳せる機会が多く、今後の自分たちが取るべき行動について考えることができた。			・地域行事に積極的に参加し、貢献する姿を多く見ました。ボランティア精神が育っていると感心します。 -・平和を考える会や世界のトピックスの活用など世の中で起きている物事に考えを向けて、自分達できる取組を模索することはとても大切だと思います。ボランティア活動も盛んで六中ならではの特
	学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	1:実施しなかった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。	の生活アンケートの該当する項目(1・14~22)及び、保護者対象アンケートの該当する項目(4~6)で3または4と答えた生徒・保護者が			1	になっています。ただ、不登校のお子さんが学級に数名いるようですので、難しい問題とは思いますが、引き続き学校側の取組を進めてほしいと考えています。 ・世界の情勢に目を向けることやボランティアの活動はすばらしいと思います。 ・さまざまなボランティア活動を通じて人と人、人と自然とのつながりの大切さを認識させ、さらに自有用感を持たせることは、人間形成にとってなくてはならないものだ。
るとともに、自 也の生命を尊 重する心を育	学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの 未然防止、早期発見等のための取組を実施	1:60%未満であった。 4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。	80%以上2:生徒学校評価アンケートの該当する項目(1~8),生徒の生活アンケートの該当する項目(1・14~22)及び、保	授業配信に向けた工夫について教職 員間で共有を図った。 4 ・大岡山駅前花壇整備や洗足池清掃 など、定期的な催しのほか、ゴーヤグ リーンカーテンの設置や勝海舟記念			 ・今の世界情勢に目を向け、何が起こっていて、何をするべきなのか、考える機会を持っていること 非常に良いと感じました。 ・勝海舟記念館の六中生が作成したリーフレットは、デザイン、色調も品があり、見やすく、とても 出来ている。3年生の道徳授業(学習指導案から)では、事例を基に自然に対する畏敬の念、郷土
成するなど、望れ来の希はないのではない。	する。 問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生	1:60%未満であった。 4:必要な事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した 3:必要な事案に対しておおかた会議を実施した。	— 60%以上	館との協働的な取組を通して人や自然とのつながりを考えたボランティア活動を実践した。	С		愛、先人への尊敬、感謝、郷土の発展等々について協議しながら考えを深める授業を行っている れぞれが自分自身の事として考え、話し合うことで、別の問題にも対応できる良心の育つ道徳授美 あり、道徳教育の重要性を再認識した。中学校3年間を通しての防災学習やボランティア活動の終 により、地域の人としての存在感が増してきていると思う。今後の成長と活躍を応援させていただき い。コロナ禍により開催できなかった行事が多く残念でしたが、地域の行事に楽しんで参加して欲
	徒に関するケース会議等を実施する。	2:必要な事案に対してあまり会議を実施しなかった。 1:必要な事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をしなかった。 4:ボランティア活動を月1回以上実施した。	── の該当する項目(1~8),生徒		D	0	と願っている。 ・生命の大切さや平和への願いを強く持って欲しい。将来に向かっていろいろ考えていって欲しい・お互いを尊重し「やさしさ」が感じられる。登下校の姿が、中学生らしさを発揮している。
	人と人、人と自然のつながりを体験させるため に、ボランティア活動に対する生徒の意欲を 高めさせ、積極的に参加させる。	3:ボランティア活動を学期に1回以上実施した。 2:ボランティア活動を年1回以上実施した。 1:実施しなかった。 4:全教員で行った。	と答えた生徒・保護者が 4 60%未満 4:生徒学校評価アンケート 4:	・養護教諭や栄養士、家庭科教員を中			・HPの「今日の献立」はとても読み甲斐のある記事で、楽しく拝見させて頂いています。残滓記録が常に表示されて
スポーツに親 _ン む心の育成	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	の該当する項目(16·17,2 2~25)、生徒の生活アン ケートの該当する項目(2~ 5)で3または4と答えた生徒 が90%以上	心に全教職員で食育の推進を図った。 保健給食委員会が給食の残滓記録を 集計し、食品ロスについて積極的に周 知する活動を行った。 ・朝の健康確認を徹底し、感染対策を行	A	13	ることは、無意識に生徒の中に残っていくと思う、良い取組だと思います。 ・食品ロスの周知を生徒主体(保健給食委員会)で行うことで、自分事として取り組んだことが素晴らしいと感じた。 が薄い」という意見についても、素材本来の味を知るという学びにもつながると思うので、学校給食による食育を推てほしいと感じた。 ・試食会を複数回、実施していただきたいです。
や、運動習慣の定義による	給食指導及び教科等における指導を通して、 食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を 推進する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	3:生徒学校評価アンケート 3: の該当する項目(16·17,2 2~25)、生徒の生活アン ケートの該当する項目(2~ 5)で3または4と答えた生徒 が80%以上	うとともに、望ましい生活習慣を身につけるための声掛けを行った。 ・昼休みに積極的に体を動かすための環境づくりを体育委員会を中心に行った。 ・ 本。年度途中からなわとびの使用を認	В	2	 ●長びいたコロナ禍が原因で生徒の体力の低下や二極化が心配されます。積極的に体を動かすための体育委員会中心とした活動への取組はすばらしいと思います。 ●健康観察や運動の促進など、子供達の健康づくりへの対策はできていると思います。給食については、限られた質、栄養バランスなどの観点から、子供達が望むような内容に毎回するのは難しいと思いますが、残滓記録を活用少しでも食品ロスの改善が図れることを期待します。 →・給食の食品ロスについて考えることは、身近に考えることのできるSDGsの取組であり、すばらしいと思います。
ど、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	体育的行事、部活動、休み時間など様々な機 会を通して運動習慣の確立を推進する。	4:全教員で行った。 3:80%以上の教員で行った。 2:60%以上の教員で行った。 1:60%未満であった。	2:生徒学校評価アンケート 2: の該当する項目(16・17,2 2~25)、生徒の生活アン ケートの該当する項目(2~ 5)で3または4と答えた生徒	める取組もあった。 ・アンケートでは「給食は工夫されていておいしい」「学校の施設・設備は十分整っている」の評価が相対的に低かった。給食への評価は経年では上昇傾向	С	0	 ・心と体の健康についての望ましい生活習慣の啓発活動を積極的に取り入れている。また、食育、食品口ス問題とた食に関する学習も継続して行ってほしい。 ・食品口スについて積極的に取り組み、成果が表れていると思います。保健給食委員も体育委員も具体的に活動を行っており、生徒間でも刺激になっているのだと思います。 ・自主的に昼休みに外での縄跳びを始めて、運動習慣づけを出来たことは良いと思う。
	体育の授業中において、筋肉・体幹等のト レーニングを行う。	4:90%以上行っている。 3:80%以上行っている。 2:50%以上行っている。	が60%以上 1:生徒学校評価アンケート 1: の該当する項目(16・17,2 2~25)、生徒の生活アンケートの該当する項目(2~ 5)で3または4と答えた生徒	にあるが、引き続き栄養バランスの取れた食事の大切さ等について食育を充実させていく。施設・設備に関しては整理・整頓と定期的な清掃を行って清潔感を保っていく。	D	^	・プラン1と同じく成果が上がらなかったのは伸びしろがあると考えます。生徒の体力が落ちている中、体を動かすさを知ってほしい。 ・地域によっては、食事を提供し子ども達を支えています。「子ども食堂」食育は基本であると思います。まずは「おい給食」を心がけてください。
	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	1:50%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。 2:60%以上の教員が回答した。	が60%未満 4:生徒による授業アン 4: ケートのうち、生徒による 4 授業評価の項目(8~18) で3または4と答えた生	・SDGsに関わる内容は各教科の授業や行事で意識的に取り入れた。ACCU(ユネスコ・アジア文化センター)と連携し、生徒、教職員の交流を図るこ	A	10	・SDGsが生徒にとってあたりまえのものになりつつあると思います。これからも様々取組が工夫さて活動するのを楽しみにしています。 ・SDGsと言えば六中というくらい、常日頃から生徒の取組姿勢が習慣化していると感じる。平和をえる会でも、SDGsの観点から探究、発表が随所で感じとれ、思考の中にSDGsの精神が根付い
児童•生徒が	仕教諭が助言・文援を行う校内研修等を実施		徒が90%以上 3:生徒による授業アン 3: ケートのうち、生徒による	とができた。また、全国各地からの視察依頼が入るようになり、授業観察の機会が増えた。今後、授業改善の意識をさらに高め、質の高い教育環境を構築していきたい。			ると感じた。 •SDGsに関する取組は、大変すばらしいと感じています。 •授業内容の改善については、保護者が理解できるほど情報発信がなされていないと感じます。 •質の高い教育環境を構築され、すばらしいです。
	LOJTを充実させる。 各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自	1:実施しなかった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上の教員が回答した。	授業評価の項目(8~18) で3または4と答えた生 徒が80%以上	・特別支援教育委員会を定期開催し、 学校全体で情報共有を図ることができた。限られた人員と教室をより有効に 活用し、効果を上げるための工夫をさ			・いち早く取り入れたSDGsの活用がかなり定着していると思う。授業観察などを通じて、より広範に周知させていってほしい。 ・SDGsについては、毎回自分にとって良い学びにさせてもらっています。子どもたちにとっても有意 義な取組だと思います。 -・生徒のアンケートから「学校の雰囲気は明るく、みんな生き生きと活動できている。」の回答が93
上と良質な教育環境をつくります。	身の授業改善に生かす。 校内委員会等を確実に実施し、学校における	2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:月1回以上行った。 3:学期に2~3回行った。	2:生徒による授業アン 2: ケートのうち、生徒による 授業評価の項目(8~18) で3または4と答えた生 徒が60%以上	「らに考えていく必要がある。	С	0	3%あり、学校を訪れると次々に明るく挨拶をしてくれるので、良い人間関係が育っており、安心学生活を送っていると思われる。学校全体で困っている子をそのままにしない取組を評価します。どよろしくお願いいたします。・授業を今受けてみるとおもしろさが伝わってくる。中学の頃はその楽しさがわからなかった。教育境に恵まれている生徒たちがうらやましい。
	特別支援教育を推進する。 全教職員でSDG'sカレンダーを検討し、授業改善に取り組む、SDC。を会頭になりた党技会	2:学期1回以上行った。 1:実施しなかった。 4:「おおむわできた」と全教員が回答した	1:生徒による授業アン 1: ケートのうち、生徒による 授業評価の項目(8~18)		D	0	現に思まれている生徒だらかつらやましい。 - ・SDGsの幅広い指導の継続を希望。
	事に取り組む。SDGSを必頭にあいた子校行事に取り組む。 教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本	2:60%以上の教員が回答した。 1:60%未満であった。 4:月1回以上更新した。	3 で3または4と答えた生 徒が60%未満 4:保護者学校評価アン ケートの該当する項目 4:	・ホームページについては校長が先頭			・六中HPのダイアリーは、毎回楽しく拝見させて頂いています。学校の生き生きとした様子がとても良くわれます。コロナ禍が落ち着いて、地域の方との交流が再盟できるのを心待ちにしています。
当块. 安虎. 地	情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。		1	に立って頻回更新し、積極的に情報発信をすることができた。学年だより、 給食だより等についてもアップロード することで、これまで手元に届かな かった保護者にもアクセスできるよう	A	10	ます。コロナ禍が落ち着いて、地域の方との交流が再開できるのを心待ちにしています。 ・地教連に関する取組評価は4でよろしいのではと思います。 ・地域教育連絡協議会において、学校や生徒の様子等を知ることができ、とても良かったです。 ・ホームページでの学校生活の積極的な公開は、地域に開かれた六中を感じさせる特徴的な取組であり、 親しみやすくなった。学校内だけでなく、校外での活動も紹介することで、地域で学びを深めていることが、 」者にも共有されると思うので、今後ともどんどん取り上げてほしい。
域が担う役割などを明確に 地域に関	変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	3:おおむね情報を提供した。 2:あまり情報を提供しなかった。 1:情報を提供しなかった。	3:保護者学校評価アン 3: ケートの該当する項目 (21~25)で3または4と答 えた保護者が80%以上	・地域との連携については、生徒、学校の実態を踏まえて形を変えながらも、引き続き密に連携を図っていく。令和6年度を目途にコミュニティ・スクー	В		→ 1612-15共有されると思うので、今後ともとんどん取り上げてほしい。 ・施設の老朽化が顕著です。特にトイレは早急な改修を望みます。生徒のQOL向上に妨げとなっています ・学校ホームページのダイアリーは、写真だけでなく、映像等もあり、とても工夫されています。小学校のホページにリンクを貼りたいと思います。 ・評価の対象に学校施設が入っているため老朽化が否めず、低評価につながっているのでは?と感じます た、PTAは別として、他の保護者が学校に立ち入る機会が(コロナのため)大幅に減ったので学校からの情
かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深	学校支援地域本部と連携するなどして、地域 力を生かした特色ある教育活動を実践する。	2:年1回以上行った。 1:実施しなかった。	4 2:保護者学校評価アン 2: ケートの該当する項目 (21~25)で3または4と答	ルへの移行を目指し、区内各小中学 校の状況を確認しながら、大森六中校 区として望ましい形を模索していきた い。 ・保護者学校アンケートでは「学校の			発信は充実してきているけれども連携は薄れていると感じられたのかもしれません。学校の取組としては高価でよいと思います。 ・校長先生自らホームページに発信され、学校の様子や文書などが保護者に伝わっていることと思います。 ・コミュニティースクールへの移行とともに、今まで以上に、学校、家庭、地域の密な連携が得られるように関
め、子どもを	駅前の花壇整備、まちなか点検、学校防災訓練等の地域と連携した教育を実施する。	4:月1回以上行った。 3:学期に2~3回行った。 2:学期1回以上行った。 1:実施できなかった。	えた保護者が60%以上 4 1:保護者学校評価アン 1:	施設・設備は整っている」の肯定的評価が57.8%となり、成果評価が3となった。このアンケート項目が施設の老朽化を指すものか、安全・衛生上の問題			してほしい。 ・施設の老朽化については、ある程度仕方のないことだとは思います。地域にある施設として力になれるよえていきたいです。 ・HP拝見しております。情報発信ありがとうございます。文化祭ではオンラインにて発信していただき、合唱コンクールの視聴をすることが出来ました。各クラスのハーモニー奏でる様子が伝わってまいりました。心も
<u> </u>			ケートの該当する項目 (21~25)で3または4と答	を指すものかが不明確であり、目標に 正対する成果指標となっていない可能 性があるため、来年度は聞き取り項目			伝統ある合唱コンクールを観ながら、一日も早くマスクを着脱してのびのびと歌わせてあげたいと思っておりした。学校、家庭、地域の連携を深め、地域の子どもたちの育つ環境を作ってまいりたいと思います。 ・生徒たちに声をなかなかかけられません。地域で協力できる事はすすんで行動に移したいと考えます。

〇「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。 〇記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

〇学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。